

扱いやすい中量級の前後進 バイプロコンパクト-MVH206 登場!!

ご好評いただいております三笠バイプロコンパクトシリーズに200kgクラスの新型MVH-206とMVH-207が新登場いたしました。

MVH-206ならびに207は、MVH-306及び406の基本デザインを継承し、起振力を従来機の31.3kNから35kNへアップさせ輾圧力、走行性能、登坂性能の向上を図りました。国内の19kW未満汎用ディーゼルエンジン排出ガス自主規制にも対応したクリーンなエンジンを搭載して環境への配慮をいたしました。

機体性能を充実

輾圧盤の幅は国内及びアメリカ向の500mm(MVH-206)とヨーロッパをはじめとする海外向の600mm(MVH-207)の2種類を設定いたしました。輾圧盤は耐久性向上のため、磨耗しやすい部分を厚くし耐磨耗性の向上を図るとともに耐磨耗性ダクタイル鋳鉄を採用いたしました。機体を支持する防振ゴム方向を変更し、立ち上がり時の横滑り現象や路盤が固まってきたときに生じる機体の蛇行現象を抑制し、走行時の伝達ロス低減と操作性の向上をいたしました。さらに機体バランスの見直しと低重心化設計により機体の操作性が一段と向上いたしました。

仕様

型 式	MVH-206DS	
機体寸法 (ハンドル 格納状態)	全長	1,380mm
	全高(ハンドルを含む)	1,100mm
	全幅	500mm
機体寸法 (ハンドル 格納状態)	全長	800mm
	全高(ハンドルを含む)	1,310mm
	全幅	500mm
輾圧盤寸法	幅	500mm
	長さ	720mm
装備質量	238kg	
原動機	メーカー、型式	ヤンマー、L70V
	機関形式	空冷4サイクル ディーゼルエンジン
	最大出力	4.8kw/3,600min ⁻¹ (6.5PS/3,600min ⁻¹)
	セッティング数	3,200rpm
	燃料タンク容量	3.3ℓ
	セルモーター	有り
機体性能	振動数	87Hz/5,200VPM
	遠心力	35kN/3,569kgf
	速度	0~23m/min



操作性・始動性が大幅アップ

機体の前後進切替機構には、MVHシリーズで定評のある油圧式のハンドポンプを採用し、MVH-206/207にマッチングした専用設計にいたしました。操作は、前後進レバーの操作角度に応じて速度がなめらかに変化し、油圧式ならではの軽くて、スムーズなコントロールができます。また、アキュムレーター(蓄圧装置)を装備しておりますので、前後進レバー操作時の素直なレスポンスと心地よい操作フィーリングが得られます。国内仕様はレバー角度を任意の位置でホールドできるディテントタイプを採用し、輸出仕様はレバーから手を離すと中立復帰するスプリングセンタータイプの2種類を設定いたしました。新型MVH-206DS国内仕様には、エンジンの始動にセルスターを標準装備しておりますので、トレンチなど狭い場所でも手元のキースイッ

チで始動・停止ができ楽に作業が行えます。

メンテナンスも楽々

輾圧盤の上に乗った土砂は振動によって自動的に排出するセルフクリーニング構造としました。ガードフレーム上部には従来より大きい開口部を設け、給油やメンテナンスが容易に行えます。開口部蓋にはゴム成型の防塵カバーを採用いたしました。また、樹脂性バッテリーカバーの採用により土砂や雨水などからバッテリーを保護しております。

格納式防振ハンドル

格納時はハンドルを立てるだけで自動的にロックするセルフロック式を採用しました。使用時にはワンタッチでロック解除でき素早く作業に移れます。手許防振機構を採用し、ハンドルに伝わる振動を抑えることで、作業者への負担を軽減し長時間の作業でも快適に行えます。



昼食後、いつもの神保町散歩。あ、また本の話題…といわれるだろうがお許しあれ。物価値上がりのおかげで、古書店では特に全集ものが値下がりしている。かつて数万円だった全集になんと数千円の表示をあちこちで見つけて驚嘆。もの言わぬ書籍たちの声なき憤怒を思いやる書店巡りである。老いたビブリオマニアの名残か、一冊も手にしないでは帰れない。目についたのが黒岩涙香訳「巖窟王」上下二冊。新版が明治大正の匂いの漂うルビ付きで、漢字が多く装丁も古風で品格あり。衝動に駆られて迷わず購入したその訳を、まあ聞いて戴きたい。

忘れもしない小学校六年生のときだった。煮えたぎるヤカン転倒させて私は両膝に大火傷をした。あの頃の家庭療法で味噌や醤油をつけていたが悪化し、ついに長期入院。付き添っていた母に講談社少年世界名作選集の一つ「巖窟王」の購入をねだった。するとどう間違えたのか母が探してきてくれたのはどっしりと分厚い「巖窟王」で黒岩涙香訳。仕方なく読み始めたところ、とめどもなく面白くて、これが大人の本を読み通した私の初体験になった。

成人してから原典の大デューマ「モンテ・クリスト伯」を読んだ。が、小学六年生を興奮させたあの黒岩涙香訳の息もつかせぬ面白さには及ばなかった。いつか「巖窟王」再読を…の願いが、今夏ついに叶ったのだ。七十年ぶりの再読。そして六年生の時と同じ、いやそれ以上の感興を味わい、涙香という明治人の語学・能力に畏敬を捧げた。ダンテスを団友太郎、ファリア司祭を梁谷法師など、その翻案の妙技さらに明解で格調ある日本語の美に感動しながらこの夏を迎えた次第。

ユーザーフレンドリーを追求し、環境性能、走行性能、操作性の向上を図りました。MVH-306及び406同様、新型「MVH-206/207」を是非ご愛用いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

第2回 大阪三笠会 加賀市で開催



挨拶する高石会長

第二回目の大阪三笠会定時総会が4月9日(水)、10日(木)の二日間石川県加賀市のホテルアローレにて開催されました。まだ肌寒さも残る中、多数の会員様の御出席を頂き、華やかに幕を開けることが出来ました。

総会に先立って特設展示場にて行われた製品説明会では新製品である三笠エボックシリーズの提灯型投光機「エボックライト」と清涼ミストクーラー「エボックミスト」を紹介し会員の皆様には大変ご好評を頂きました。エボックライトに関してはメタルハライドの700Wを使用し十分な光量を確保することができ、円筒型の形状で小型且つ軽量の商品となっており、会員の皆様も興味を示しておられました。エボックミストに関しては近年の夏の猛暑を少しでも緩和し涼しい環境をご提供すべく、水の気化熱を利用して温度を下げるミスト機を紹介し、暑い夏場にはもってこいとお声も頂き大変好評でした。最後に輾圧機械での操作性の向上、防音対策や振動対策など付加価値の高めた商品を表示し実際皆様にも運転して頂き、高い評価を頂く事が出来ました。

場所を移しましてホテル内「瑞松(ずいしょう)」にて総会が行われました。初めに、大阪三笠会の石橋会長

(高石機械産業株式会社 代表取締役社長)より「この一年間を振り返りますと公共事業の削減はもとより、建築基準法改正による建築確認の遅れなどにより国内の建設関連事業は大変厳しい環境が続いております」と話され、また「国内の建設投資は未だ削減傾向にありますし、土木建築業者にとって厳しい環境におかれる事は明白ですが、環境問題への取組など新しい時代に即した社会資本整備はまだこれからが本番であり、決して先行き暗い材料ばかりではないとのことで、我々も時代の変化に遅れることなくお互いに頑張っていきたい」とご挨拶頂きました。引き続き弊社代表取締役社長の京谷より「昨年の第一回に引き続き第二回の定時総会を開催することが出来、誠にありがとうございます。三笠では従来製品の改良や新機種の開発を進める一方で、時代のニーズにあった付加価値の高い商品を開発し絶えず市場に供給するよう心がけていきます。今後もお客様には真の三笠ファンになっていただき、長期信頼関係を築いて行き、皆様と共に発展して行きたいと思っております」と挨拶申し上げました。その後、新会員様のご紹介をさせて頂き、石橋会長を議長に議事が進行し、全ての議案とも満場一致で承認されました。最後に弊社常務取締役営業本部長の清水より閉会の挨拶をさせて頂き、無事に総会を終了しました。

懇親会では、理事の松岡美江子様(マツオカ建機株式会社 代表取締役社長)の乾杯の御発声で始まり、抽選会を交え楽しく歓談して頂きました。理事の北野一雄様(北野建機株式会社 代表取締役)の中締めをもって懇親会は終了しましたが、その後二次会でも更に盛り上がる事となりました。

二日目は生憎の雨模様となりましたが、観光を楽しまれる方と、懇親ゴルフ

フ大会に参加される方と別れ、観光の皆様はバスにて金沢市内の兼六園を散策し、金沢21世紀美術館等を見学して頂きました。

一方懇親ゴルフ大会では片山津ゴルフ倶楽部・日本海コースで雨の中熱戦が繰り広げられ、上田建機株式会社代表取締役 上田勝康様が見事優勝され、株式会社ビナン 代表取締役社長 西山茂三様がなんとホールインワンを達成されました。これには参加された皆様はもとより、西山社長ご本人もビックリされておりました。ほんとうにおめでとうございました。

会員皆様のご協力により、第二回大阪三笠会定時総会を無事に終了する事が出来、誠にありがとうございました。ご出席頂きました皆様の今後益々のご繁栄とご健勝を社員一同お祈り申し上げます。

大阪一課 仲井記

第2回 九州三笠会 盛大に開催

第二回九州三笠会が4月16日(水)、17日(木)の2日間にわたり、福岡市内のJALリゾートシーホークホテル福岡にて開催されました。平日のお忙しい中、沖縄県をはじめ九州各地より会員皆様にご参集賜り、第二回九州三笠会を盛大に開催することが出来ました。

総会に先立って行われた製品説明会では、屋外に特設会場を設け、三笠の主力製品を一同に展示し、防振性に優れたハンドル、稼働時間及びエンジン回転計兼用のオリジナルメーターの装備等、次世代ランマーとしての性能を凝縮したMTXシリーズランマーや提灯型投光機「エボックライト」、清涼ミストクーラー「エボックミスト」の実演デモを行い、皆様には関心深く見学して頂くことが出来ました。

ブターのプロペラなども並んでおります。また一階エントランスには1950年代後半に普及した合板製のヨットも飾られており、木材と人との関わりの歴史を来館者に伝えてくれます。地球温暖化や環境問題が日々メディアの中枢を彩る現状の中、森林資源の有効活用の必要性を私達に教えてくれます。

皆さんもお時間がある時に見学に行かれてみては如何でしょうか。親子で木工教室を体験出来るスペースや様々なイベントがあり、また展示会場にはスタッフの方々が随時いらっしゃるののでわからないことや質問があれば丁寧に答えてくれます。私みたいな木材初心者?でも優しく学べるお勤めのスポットであり、教養を高める文化施設です。木材が日々の生活にいかにか大きな役割を果たしているかを再認識する良い機会になると思います。

詳しくは同博物館のホームページをご覧ください。

<http://www.woodmuseum.jp/>

総務課 銀農記

第二回九州三笠会 定時総会



挨拶する永島会長

総会では、永島会長(熊本中央リース株式会社 代表取締役社長)より、「道路特定財源、サブプライム問題など不安要素はあるものの、レンタル産業は、まだまだ成長出来る。この会を大切にしながら皆様にとって有益な時間になる様にと」ご挨拶を頂戴いたしました。

続いて、弊社京谷社長から「三笠会としまして、全国で300社を超える会に成長し近い将来には全国大会の開催をしたい」、「業界内では道路の失効、工事の見直し等、多大なる影響を受け今後の商況にも厳しい見方をしており、誠に不本意ではありますが、原材料の高騰、コスト面の影響を受け6月1日からの値上げにご理解を頂きたく、ご説明をさせて頂きました。」「今後の三笠としましては、現行商品の高品質化、新製品の開発に努め新ジャンルによる突破口(新時代に合う商品化)、独自の開発に力を入れていきます」と挨拶がありました。

総会終了後の懇親会は、中野副会長(株式会社ナカノ 代表取締役社長)の乾杯のご発声により始まり、ビンゴゲーム等楽しい一時を過ごし、丸山監事(ユアサR&S株式会社 九州ブロック長)の中締めでお開きとなりました。

翌日はザ・クイーンズヒルゴルフクラブ(福岡県前原市)にて親睦ゴルフ大会が行われ、九州三笠会の中野副会長が見事優勝をされました。

第二回九州三笠会、今回34社(新規会員1社を含む)の36名のお客にご出席頂き、お陰様をもちまして無事に終えることが出来ました。九州三笠会の会員皆様に深く感謝を申し上げるとともに、今後益々のご発展とご健勝をお祈り申し上げます。

鹿児島出張所 大力記

木材・合板博物館に三笠MTXランマーのフートが・・・

日本に合板が誕生して100年の年を数える昨年10月、東京都江東区新木場に木材・合板博物館が出来ました。新木場は昭和40年代から50年代にかけてそれまで「木場」にあった製材工場や貯木場が移転してき



展示ランマーフート 博物館のエントランス

た文字通り「新木場」で「木材の街」と呼ばれています。目指す「木材・合板博物館」は新木場駅から徒歩10分の新木場タワーの3・4階にあります。木の香りがほんのり漂う入口には、世界の森林分布図や国土に森林を有する国別のランキングパネルが並び、奥に進むと木を植えて木材になるまでを模型やCGで表現しており、見る人の目を楽しませてくれます。また「合板をつくる」コーナーには、原木を丸剥ぎにして(リンゴの皮むきみたいに)単板を製材するロータリーレースという機

械の稼働模型が展示されており、実演も交えながら単板を製材する過程を紹介してくれます。

MTXランマーのフートはブナ合板に鉄板を張り付けております。輾圧作業の際に強度がありすぎると機体への負担が大きくなり、逆に弱すぎるとフートが破損しやすくなるので、道路工事や下水道工事などの現場で程良い強度を出すために木目をタテヨコに張り合わせております。

フートの展示されているコーナーには、合板製のテニスラケットやヘリコ

三笠ホームページを リニューアル

6月よりホームページを大幅にリニューアル致しました。あわせてWEB総合カタログも新年度版としましたので冊子の総合カタログ同様に宜しくお願います。

<http://www.mikasas.com/>



三笠とともに半世紀余 画家永井郁氏の肖像

第一回目 JAL編 「鶴丸」伝説を作った男



図①

「上京してきた時のこと
って、よく覚えていな
いんだよ」

こう語ってくれたのは
画家でありグラフィッ
クデザイナーでもある
永井郁氏である。1948
年（昭和23年）3月、
故郷の長野県飯田市を
出て新宿駅に着いたと
きの感慨である。

永井氏と三笠産業と

の出会いには1951年頃。三笠の事務所が
銀座5丁目にあった時代で、永井氏が
出入りしていた雑誌社が同じビルの二
階にあり互いに接していた関係から、
先代の会長（京谷弘道）が、カタログ
のイラストや漫画を永井氏に依頼する
ことになった。このことが機縁で現在
まで永井氏と三笠の交流が続くことにな
る。しかし、この出会いについては
改めて紙面を割きたい。今回は、その
後、JALのデザインを数多く引き受け
ることになる永井氏の足跡を辿ろうと
思う。

2008年5月31日 この日が日本航空
の「鶴丸」マークがついた機体の最終
フライト日となった。丹頂鶴をモチ
ーフにデザインされたいわゆる「鶴丸」
マーク（図①）は、JALという会社、
ひいては日本のシンボルとして、世界
各国の空港で多くの日本人に誇りと癒
しを与えてきた。また、世界の人々にと
っても、この鶴のマークは、日本を



鶴丸のきっかけとなったポスター 鶴丸オリジナル



代表するイメージとして半世紀の間に
定着してきたのである。その「鶴丸」
の歴史が終わった。この「鶴丸」の生
みの親が永井郁氏なのである。

上京前の永井青年は、長野県飯田市
で18歳までを過ごした。お寺の近くで
生まれ育った環境もあり、やがて僧侶
を目指す青年となっていた。しかし、
昭和22年、父親の急逝があり、飯田市
の大火という戦後最大の大火に見舞わ
れ、人生の方向が変わってくる。法隆
寺への道も新弟子受け入れ困難との連
絡で、見果てぬ夢となってしまった。
残されたのは絵を描くこと以外にない
と思った。そして、デザインの仕事に
携わっていた兄や義兄達を手伝うこと
になった。翌年、昭和23年の春に上京
することになる。

上京後、多摩造形芸術専門学校（現
在の多摩美大）に通学しながら油絵を
学ぶかわら、義兄のデザイン会社を
手伝うことになる。戦後の混乱期で物

資がままならない状況ながら、日本の
国が再建の道を急速に歩み始めた頃で
ある。広告の仕事が多く、ニューズウ
ィーク誌の広告デザインなどアメリカ
からの依頼仕事も多くあった。雑誌の
イラストを手がけることもあり、銀座
のロマンス社、婦人生活社に出入りす
るうちに、三笠との交流が始まる。街
頭には、サンドイッチマンが旺盛な廣
告活動をしており、そうかと思えば、
私娼が街灯下にたたずみ、駐留軍御用
達の未亡人サロンからはセントルイス
ブルースが流れてくる。当時の銀座は
復興期のたたずまいを残しながらも、
猛烈な勢いで成長していたのである。
そんな時代であった。

本挽町のアートスタジオで仕事をし
ていた頃、日本航空の仕事を一手に引
き受けていた広告代理店「萬年社」の
人間が、日航の宣伝部（丸ビルにあっ
た）を紹介してくれた。これがきっか
けで日航との長い交流がはじまった。

1953年、国
際線開設に伴
い、日航の新し
いイメージをア
ピールするポス
ターの募集があ
った。以前のロ
ゴ（図②）が零
戦に似ている
とアメリカ側か
らクレームが
ついたという
話も聞いた。当
時はアメリカ
側に決定権があ
ったようで、当
代一流のデザ
イナー諸氏に混
じって、永井氏
の作品もアメリ
カに応募される
結果は、永井氏
のものが最良の
ものとして採用
されることにな
る。23歳であっ
た。この時のデ
ザインがこれだ
。『考えに考
え、ひらめいた
ものが「千羽鶴
」を紫色の地に
描いたもの』で
あった。この
「鶴」のイメ
ージが新生JAL
のイメージとな
った。国際線の
宣伝物、パンフ
レット、メニュー
などあらゆる媒
体に使用される
ようになった。鶴丸マー



図②



図③

クも最初は多くのバリエーションがあ
ったが、あくまでこれらは永井氏のデ
ザインによるものである。1959年には、
アメリカにおける広告代理店ポッツフ
ォード社から「鶴丸」が商標登録とし
て制定された。見れば明らかのように、
鶴のモチーフはもとよりそれまでの図
案が踏襲されている。

以来、1989年に日航が完全に民営化
されるまで、様々なデザインの仕事を
請け負うことになった。その中でも、
ファーストフライトカバー（図③）と
いう航空書状のデザインを多く手がけ
たことが印象に残っているという。精
密な飛行機のイラストも多く依頼され、
時には車のイラストまでにも及んだ。
こうしたJALとの長い交流も、民営化
を機にデザイナーとして区切りをつけ
ることになった。現在は、葛飾区柴又
のアトリエを拠点として、念願の絵画
創作と万葉集をテーマとした著作活動
に、精力を傾けている。そして、今年、
鶴丸マークにも一区切りがついた。

付記

永井先生には、
柴又のアトリエまで
おしかけてインタビ
ューさせていただき
ました。お忙しい
中、長時間ありが
とうございました。先生は、現在、来年
3月の個展（銀座）に向けて、創作活動
に余念がありません。また、弊社にと
っても大切な作品を現在製作中です。この
話はまた、機会を見つけて…

取材・文責 ふの字

第51回 笠友会 箱根湯本で開催



第51回 笠友会総会

三笠産業の協力工場および納入業者
で組織された親睦団体「笠友会」の第
51回総会が5月23日（金）から24日
（土）の日程で箱根湯本温泉、湯本富
士屋ホテルで開催された。小田急新宿
駅に午後1時過ぎに集合、ロマンスカ
ーで1時間半程雑談している内に箱根
湯本駅に到着、駅に隣接しているホテ
ルに直行し直ちに総会が開催された。

総会の冒頭、当会の鈴木会長（スル
ガ電機株式会社、代表取締役社長）よ
り「今期前半の景気は順調に推移して
いたが、後半に入り米国のサブプライ

ムローン問題の影響で景気後退局面に
入り受注が減少してきている。三笠産
業さんも米国向けの販売比率が高いと
聞いていたので一時は大変心配してい
たが、京谷社長と面談した際に米国の
落込みを米国以外の市場でカバーし
ているとお話を聞き大変安堵した。現
在、我々は原材料高による仕入コスト
の上昇と、上昇したコストを思うよう
に販売価格に転嫁出来ない状況が続い
ているが、このような厳しい時こそ笠
友会々員一同が協力しこの難局を乗り
越えよう」と開会のご挨拶があった。

次に当会の京谷特別顧問（三笠産業
株式会社、代表取締役社長）より、会
員皆様方へ今回の総会へのご出席と日
ごろのご支援、ご協力に対しお礼が述
べられた。引き続き「世界市場の変
化」、「川下から川上への産業の主導権
の回帰」の二つの事柄と三笠産業の今
年度の業績見通しおよび現状報告なら
びに来年度の営業方針が述べられた。
特に「世界市場の変化」については、
新興国の市場が急拡大している様子
を「我々は今まで世界の人口約66億人の

うち、主に日本、欧米、そして東南ア
ジアの約10億人の人口を有する先進国
のマーケットを中心にビジネスを展開
してきましたが、ここ数年のBRICsや
中東の目覚ましい発展を語るまでもなく、
まさに約人口30億人の新しいマーケ
ットが加わり、約4倍にあたる巨大マー
ケットが出現しつつあります。まさに
2極時代を迎えようとしている」と述べ
られ資源、食料不足、それらの価格高
騰による世界経済への影響等について
意見が述べられた。

引き続き鈴木会長が議長となり議案
の審議が行われた。今回は任期満了に
よる役員改選が行われた。健康上の
理由で鈴木会長は退任され新たに設け
られた相談役に就任された。新しい会
長には前庭山副会長（北新梱包運輸株
式会社、代表取締役会長）、副会長に
は前多羅尾理事（タカハタ産業株式
会社、代表取締役社長）が就任された。
全ての議案が満場一致で承認され新
庭山会長の就任挨拶の後、小師理事（東
建工業株式会社、代表取締役社長）よ
り今後の予定が発表され、閉会の挨拶



で無事総会が終了した。

第二部の懇親会が多羅尾副会長の乾
杯の音頭で開催された。総会終了後に
皆様ホテル自慢の温泉に入浴され、浴
衣に着替えすっかりリラックスした姿
で参加して頂き、昨年の中国、大連市
での中華円卓宴会と対照的に、まさに
日本式宴会が和気藹々と繰り広げられ
ました。翌日は有志による親睦ゴルフ
大会が仙石ゴルフコースで開催され、
降雨予報を無視で吹き飛ばし、アクロ
ナイネン株式会社、東京営業所 矢代
様が見事優勝されました。

会員の皆様大変お疲れ様でした。ま
た、ご協力ありがとうございました。

総務部 小谷記

札幌営業所 第22回開催 オープニングフェア



札幌営業所オープニングフェア

札幌営業所の恒例行事、オープニングフェアを4月16日（水）、17日（木）の2日間、北海道三笠会の協賛により開催しました。今年は天候に恵まれ、春の陽気が漂う暖かい気候の下、札幌近郊はもとより道内各地より大勢のお客様にご来場を賜りました。

展示会場では、現場での低騒音化を実現した新型防音ランマーMT-55L-SGK、静音型プレートMVC-F60VLS等の実演を致しました。これからの時代は、騒音対策も重要課題だと日々感じておりますが、改めて防音・低騒音等、環境に配慮した三笠の対応に関心が集まり、今後に大きな手ごたえを感じる事が出来ました。

更に新製品では、手元振動の大幅な軽減に成功した次世代ランマーのMTX-60や、気化熱を利用して温度を下げる微霧降温装置エボックミスト、700Wを採用し明るさにこだわった提灯型投光機エボックライトの実演も合わせて行い、実際にお客様に体感して頂き好評を得る事が出来ました。又、舗装時の接着度を向上させ、且つ舗装

の沈下を抑える面取り工法と、それに対応した舗装面取機MVC-727型については初めて目にされるお客様も多く、その工法と効果に対しての質問も相次ぎました。

又、恒例のアトラクションとしまして、今年もプロゴルファーによる無料レッスンコーナーに多数のお客様が熱心にレッスンを受けられ、間近に迫ったシーズンに向けて備えられている様子でした。

今年も多数のご来場ご成約を頂き感謝申し上げます。これからも皆様のお役に立てるよう所員一同努力してまいりますので、尚一層のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

札幌課 越後

EE東北 新技術展示会 宮城 夢メッセで開催



EE東北

6月4日～5日に宮城県仙台市宮城野区の夢メッセにおいて新技術展示会EE東北 '08が開催されました。この展示会は、東北地方整備局東北技術事務所が主催し、平成2年から開催され今回で19回目となります。今回は159社343技術が出品されました。EEとは、Engineering Exhibition（エンジニアリング・エキジビション）の略

で、新技術を広く公開するという意味です。この展示会では、建設事業に係わる新材料・新工法その他、時代のニーズに対応し開発された新技術を公開し、その普及を図ることにより、技術開発を促進するとともに、良質な社会資本の整備を通じて地域の発展に寄与することを目的としております。

今回三笠産業は単独で出展し、MCV-727舗装面取機のほか新ジャンル商品としてエボックミスト・エボックライト（提灯型投光機）、次世代を担う新型ランマー、都市部や夜間工事に最適な防音型ランマー、作業者に考慮した防振ハンドル付プレート、静音型プレートを展示しました。

新ジャンル商品であるエボックミストは一体型2台・分離型（送排風機取付リング式・ホースセット式）によるミスト実演デモを終日行いました。このミスト実演には来場されたお客様全てが関心を示され実に圧巻でした。投光機の分野に三笠産業として初めて取り組みましたエボックライトにおいては、提灯型のライトを採用し、バルーンと比較して格納などの邪魔にならないのが非常に良いと評価を頂きました。実際にライトを外して内部を確認される方もおられました。

一方、アスファルト舗装の面取工法は、8年前に開発され、舗装面取機械としてEE東北には毎年出展しております。展示会では、面取工法を実演機にて、実際にアスファルト舗装を想定した実演コースで舗装面取を行い、国交省や、地元宮城県、青森県、秋田県、山形県、福島県などの役所関係の方々



や工事業者・カッター業者の方々に非常に関心を持って見ていただきました。昨年は冬季の作業速度向上のためロードヒーターを開発しました。このロードヒーターは、ガス赤外線バーナーを使用しており、効率的に面取り部分を過熱することができます。ロードヒーターでの過熱を併用すれば、1時間に100～120mの作業は充分可能となります。このロードヒーターは、オプション設定となっておりますが、後付も可能ですのでぜひご活用下さい。なお、詳しい資料やPRビデオ（DVD）等も用意しておりますので、ご興味のある方は是非三笠の担当までお問い合わせいただければ幸いです。

開発部 須永記

三笠クイズ VOL.70

【問題】タテとヨコのかぎを解いて1～5の文字をつなげると、最近話題のことが浮かんできます。さて何でしょう。

ヒント

ヨコのかぎ
ア、カレーライスに欠かせない具。
肉、タマネギ、ニンジン、
〇〇〇〇〇。

イ、お酒？というよりアルコール分の強い蒸留酒を英語で言う？

ウ、〇〇に書いてあるとは、言わなくても感情や気持ちが表情に出てくる。エ、祭礼の時に種々の飾り物などして引き出す車。〇〇を引く。
オ、相手の気分や意向をたずねるときなどに用います。
ご機嫌〇〇ですか？

カ、「グリム童話」や「イソップ物語」等おとぎ話の総称

タテのかぎ

A、〇〇〇戦術とは多数の人員を次々に繰り出すことによって仕事を成し遂げようとするやり方。
B、里神楽などで「ひょっとこ」と対で用いられる女性の面。
C、生姜をスライスして味付けしたもの。お寿司には欠かせません。
D、加速の単位。地震の大きさを表す時にも使われる。
E、木や竹を縛り合わせた簡易的なボート。以前は河川を利用して木材を運搬するために〇〇〇流しが行われた。
F、好きな人には積極的にかけていかなきゃ!!

応募の方法 官製ハガキにクイズの答えと住所、氏名、年齢、職業（会社名）をお書きのうえご応募ください。正解者には抽選の上10名様に記念品を差し上げます。

●あて先 三笠産業株式会社「三笠ニュース」編集部
●締切り 2008年8月20日（水）消印有効

VOL.69の答えは「ダイエット」でした。次の10名様に図書カードをお送りしました。
金内マリ子様（長岡市） 浅野美香様（いすみ市） 佐々木正博様（駒ヶ根市）
山下茂央様（岐阜市） 阿相奈美様（新庄市） 今野友美様（東根市）
原川久子様（浜松市） 青山弘子様（古河市） 大城真由美様（三養基郡）
宇佐見晃様（大津市）

氏名 上田 伸治
入社 平成18年
出身地 山口県
所属 三笠産業株式会社
開発部開発三課



—日頃どんな仕事をしていますか？

おもに振動ローラーを担当しています。製品の開発や性能測定、データの収集・整理などを主業務としております。

—今最も関心を持っていることは何ですか？

半年ほど前から始めたカメラです。学生の時から一眼レフカメラが欲しかったのですが、去年の冬にようやく購入しました。目下のところは休みの日に風景や動物などを撮影して楽しんでいます。しかし、半年たった今でもカメラ機能や撮影条件の設定があまりわからない状態で、ほとんどの撮影はカメラの「オート」に任せています。撮影場所はもっぱら私の住んでいる埼玉県岡岡町近辺なのですが、いつかは日本各地や海外にも足を伸ばしているんな場所の風景や動物を撮影したいなと思っています。まずはカメラに任せないで撮影できるようにするのが目標です。

—お客様に一言どうぞ

製品開発にあたり、より良い製品をお客様に提供することを念頭において日々製品開発に取り組んでおります。三笠製品が多くのお客様に満足していただけるよう、業務に邁進してまいりますので、これからも三笠製品をご愛顧いただきますよう宜しくお願いします。

我・ら・三・笠・産・業・の・こ・ろ・に



氏名 鈴木 香央里
入社 平成18年
出身地 東京都
所属 三笠産業株式会社
海外営業部海外二課

—日頃どんな仕事をしていますか？

アジア・中近東・オセアニアを担当する海外二課に所属し、各国への製品・部品の出荷に伴う受注・売上等の伝票処理、船積書類の作成等のサポートをしています。

—今最も関心を持っていることは何ですか？

今の興味の対象は「夜行バスの旅」です。夜に長距離バスに乗り、朝目覚めると知らない土地に着いているという夜行バスの旅は旅情たっぷりかつエキサイティングで、今までに奈良、滋賀、兵庫…と各地をバスで旅行しています。長い車内の時間をどう快適に過ごすかを工夫するのが楽しいですし、多くのバスは早朝に目的地に到着するので、まだ動き出す前の静まり返った観光地の姿を楽しめるところも気に入っています。今後は念願だった東京—鳥根間の夜行バスにチャレンジしてみたいと思っています。

—お客様に一言どうぞ

入社致しましてから今日に至るまで、初めてのことの連続で、反省と勉強の繰り返しの中、周りの皆様の大きなお力に支えられてここまで来る事が出来ました。未だ至らない事を痛感することも多く勉強の毎日ですが、これからもいっそう精進してまいりますのでご指導、ご鞭撻頂けます様どうぞ宜しくお願いいたします。